

【ACKグループ第19回定例会を開催 長期的な展望持ち連携強化】

第19回定例会を開催

長期的な展望持ち連携強化

ACKグループ

ACKグループは2日、「第19回ACKグループ定例会」を開催した。写真。会場に加え、TV会議インターネットライブ中継で接続した全国20



か所以上の拠点から、多数のグループ各社の役員が出席した。

定例会は、中期経営計画ACKG2013の強化方針である「個の強化」「連携の強化」「3軸市場の競争力強化」をグループ全社が一丸となって推進するための場と位置付け、グループ各社における重点化プロジェクトの取組みについて紹介している。今回は、8件のプロジ

エクトについて、プロジェクトの内容と今後の展開が発表され、これに対する多くの質疑応答が行われた。また、発表に対して、出席した役員によるインターネット投票を行い、最優秀賞1件、優秀賞2件を表彰した。

最後に、野崎秀則社長が、「事業拡大に向けては、『技術開発』『人材育成』『実績づくり』を強化し、ACKグループの差別化を図ることが重要。そのためには、このような機会を通じて全従業員のコミュニケーションを一層促進し、長期的な展望を持って『個の強化』『連携の強化』を著実に進めてほしい」と述べた。

発表プロジェクトは次の通り。

- 「インフラ保全・運営管理」3D地上レーザFOCUSとびり割れ調査・クモフスTSを活用した橋梁点検と補修設計への利用VFOCUSの適用事例と今後の活用可能性(その1)▽同(その2)▽橋梁の包括管理へ向けた維持管理手法検討報告。
- 「事業経営」下水道事業における官民連携プロジェクト参画の推進。
- 「海外新規開拓」アフリカサハラ地域プロジェクト紹介・エチオピア国幹線道路改修プロジェクト。
- 「防災」土壌水分計測技術を利用した斜面災害予知システムに関する共同研究への参画と防災・インフラ保全分野における今後の展望。
- 「地域活性化」うきは市における観光振興に向けた取り組み。